

科目名	ケーススタディ 非営利組織のマネジメント・コントロールシステム
担当者	小林麻理
配当学期	春学期
単位	2単位
授業概要	利益という明確な経営指標が存在しない非営利組織においては、営利企業より一層組織のマネジメント能力の開発が重要である。この観点に立ち、本講座は、非営利組織におけるマネジメント・コントロールの意義と機能を把握し、さまざまな目的を有する個別の非営利組織においていかなるマネジメント・コントロールシステムが開発され、運用されるべきかを検討し、非営利組織におけるマネジメント・コントロールシステム・モデルを探求する。
授業の到達目標	非営利組織のパフォーマンスを高めるためにどのようなマネジメント・コントロールシステムが必要とされるかについて理解し、具体的なシステムを検討できるようにする。
授業計画	<p>第1回 非営利組織の特性と機能別分類</p> <p>第2回 非営利組織におけるマネジメント・コントロールシステムの意義と必要性</p> <p>第3回 マネジメント・コントロールシステムのためのモデル</p> <p>第4回 戦略計画に関するケーススタディ(1)―学校、病院、美術館</p> <p>第5回 戦略計画に関するケーススタディ(2)―学校、病院、美術館</p> <p>第6回 プログラム分析に関するケーススタディ(1)―研究機関、病院 etc.</p> <p>第7回 プログラム分析に関するケーススタディ(2)―研究機関、病院 etc.</p> <p>第8回 予算管理に関するケーススタディ(1)―学校、病院 etc.</p> <p>第9回 予算管理に関するケーススタディ(1)―学校、病院 etc.</p> <p>第10回 オペレーション・コントロールに関するケーススタディ(1)</p> <p>第11回 オペレーション・コントロールに関するケーススタディ(2)</p> <p>第12回 業績評価と報告に関するケーススタディ</p> <p>第13回 コンテキスト別ケーススタディ</p> <p>第14回 受講者によるプレゼンテーションとディスカッション</p> <p>第15回 総括</p>
教科書	特に指定しない。毎回資料を配布する。
参考文献	R. N. Anthony and D. W. Young, Management Control in Nonprofit Organization, McGraw-Hill, Irwin. その他授業において適宜紹介する

成績評価方法	評価基準	
試験 %		
レポート %		
平常点評価 40%	授業で取り上げた論点に関する発言の積極性と授業理解促進への寄与度、出席は原則3分の2を下回らないこと。	
その他 60%	<p>授業におけるプレゼンテーションの内容（問題設定の適切性、問題意識、アプローチ、論点整理）及びプレゼンテーションに対する質疑応答。</p> <p>本授業では、授業の後半に授業で取り上げたテーマについて自由に発表者が問題設定を行うプレゼンテーションを課しています。発表時間は25分から30分、質疑15分から20分を予定しています。</p>	
関連 URL		
備考	授業について要望、質問等は積極的に、 mariky@waseda.jp にコンタクトすること。	